



SENDAI
STARTUP
ECOSYSTEM

仙台・東北から世界を変える
スタートアップの輩出を目指して

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会
仙台市経済局イノベーション推進部



仙台市
City of Sendai



仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会 拠点形成計画KPI達成状況

拠点形成計画に掲げるKPIの達成状況について（2020年7月～2023年3月累計）

スタートアップ
創出・育成（累計）



264社 / 300社

資金調達額
（単年度）



43.7億円 / 50億円

ユニコーン創出
（2024年までに）



東北大学発1社 / 1社

地域企業との
協業（累計）



489件 / 400件

グローバル
（累計）



226件 / 100件

スタートアップピザ
（累計）



5名 / 50名

拠点形成計画KPI達成状況①



スタートアップ
創出・育成（累計）

264社 / 300社

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体の支援を通じて大学等の研究成果や技術シーズを活用し、社会課題の解決を目指すスタートアップを300社以上輩出・育成する。

【主な支援事業】



東北大学連携ビジネスインキュベータ
（中小機構、宮城県、仙台市）



スタートアップ加速化支援事業
AI・IoT枠（宮城県）



東北大学スタートアップ事業化センター
（東北大学）



SENDAI NEW PUBLIC
（仙台市、スパークル）



東北グロースアクセラレーター
（仙台市、みらいワークス）



東北ソーシャル・インパクトアクセラレーター
（仙台市、IMPACT Foundation Japan）

拠点形成計画KPI達成状況②



資金調達額
(単年度)

43.7億円 / 50億円

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体が支援を行ったスタートアップの資金調達額の合計額が2024年単年で50億円以上となる。

【主な支援スタートアップ】



株式会社3DC

東北大学発



RevolKa

株式会社レボルカ

東北大学発



株式会社Co-LABO MAKER

STORYLINE

ストーリーライン株式会社

東北大学発



輝翠TECH株式会社

東北大学発



イームズロボティクス株式会社

エクイティ調達を実施した18社中、11社が大学発スタートアップ（ディープテック・スタートアップに強み）

拠点形成計画KPI達成状況③



ユニコーン創出
(2024年までに) 東北大学発 **1社 / 1社**

【主な支援スタートアップ】



株式会社クリーンプラネット
新水素エネルギーの実用化研究
(東北大学発スタートアップ)

評価額 **1,457**億円

※STARTUP DB 国内スタートアップ評価額ランキング最新版
(2022年10月)

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体が支援を行ったスタートアップのうち時価総額が2024年時点で1,250億円以上となるユニコーン企業を創出する。

【IPO実績】



仙台未来創造企業プログラムに採択されている仙台市の株式会社ジーデップ・アドバンス（2016年設立：ディープラーニング用サーバー、エッジデバイスの開発）が東京証券取引所スタンダード市場へ上場

時価総額 **180**億円 ※2023年6月30日



東北アクセラレーター2017採択企業で仙台未来創造企業プログラムに採択されている仙台市の株式会社manaby（2016年設立：就労移行支援事業）が東京証券取引所TOKYO PRO Marketへ上場

拠点形成計画KPI達成状況④



地域企業との
協業（累計）

489件 / 400件

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体の支援を通じて地域の大企業や中小企業とスタートアップの協業を400件以上実現する。

【主な支援事業】



東北大学連携ビジネスインキュベータ
（中小機構、宮城県、仙台市）



ピッチイベント「aTOP」
（中小機構、東北経済産業局、
宮城県、仙台市）



東北地域ものづくり企業連携事業
（仙台市産業振興事業団）



東北グロースアクセラレーター
リバーズピッチ
（仙台市、みらいワークス）



J-Startup TOHOKU
Innovators Gathering
（東北経済産業局、仙台市）



オープンイノベーションピッチ
（七十七銀行）

拠点形成計画KPI達成状況⑤



グローバル
(累計)

226件 / 100件

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体が支援を行うスタートアップが海外のスタートアップイベント出展等を通じて海外企業や自治体等との協業を100件以上実現する。

【主な支援事業】

JETROと仙台市が連携し、フィンランド共和国の首都ヘルシンキで開催される世界最大級のスタートアップイベント「**SLUSH**」へ仙台ブースを出展。選抜された3社のスタートアップに対し、情報発信やビジネスマッチング、ネットワーキングの機会を提供。出展した「ヘラルボニー」がフィンランド国営放送（yle）の取材を受けるなど注目を集めた。

JETROと仙台市が連携し、東北地域のスタートアップをシリコンバレー派遣プログラムを実施。東北グロースアクセラレーター採択企業など11社が参加し、シリコンバレーの支援者や投資家からのレクチャーやプレゼンテーション指導を受け、現地の投資家や大企業の新規事業担当者とのマッチングイベントを開催。



Megumi Kobayashi japanilaisesta Herbalbony-firmasta. Kobayashin paita on firman taiteilijoiden käsialaa, kuten taustakangaskin. Kuva: Jussi Mankkinen / Yle



拠点形成計画KPI達成状況⑥



スタートアップビザ
(累計)

5名 / 50名

外国人創業・起業活動促進事業（スタートアップビザ）を活用し、仙台・東北での起業を希望する外国人に対して支援を行い50名以上の起業を支援する。

【主な支援スタートアップ】

Startup Visa's Relaxed Requirements

For many of these foreign entrepreneurs, Japan's Startup Visa was the crucial first step to getting their ventures off the ground. Since 2015, the Government of Japan's Startup Visa has allowed would-be entrepreneurs to stay in Japan for six to 18 months while they set up a business. So far, Japan has designated 22 municipalities* from Fukuoka to Kyoto, Sendai, and Hokkaido, including those within national strategic special zones, where it's hoping to encourage more foreigners to open a business. The Startup Visa relaxed the strict requirements for raising funds (5 million yen, or US\$38,000 dollars) and hiring employees (at least two) that had made getting a Business Manager Visa so difficult. Startup Visa holders can stay in Japan for six months to meet such requirements and prepare for launching their new business. In some municipalities, a further 6- to 12-month extension is available if the municipal government approves their progress toward opening a business.

* As of February 2023

To demystify the visa process, the Japan External Trade Organization (JETRO)—the government agency whose mission is to facilitate investments from abroad and open doors overseas for Japanese businesses—offers assistance to applicants through its local offices in Kyoto and Kobe. Some municipal governments have set up programs to help with the application process. "Starting a company was hectic, and there was a lot of paperwork," said Blum. "But I joined Sendai City's Tohoku Growth Accelerator Program and had an online checklist of how to start a company, which made it easier." Being aware of the regulations and required documents and getting help from a Japanese native helped, he said.

Japan's Startup Visa is part of a broader set of policy initiatives aimed at enticing overseas professionals. Universities, businesses and local governments are working together to expand job opportunities in Japan for international students from Japanese universities. The government recently announced the creation of a new system to open the door to foreign professionals further. Soon, engineers with an annual salary of 20 million yen (approximately US\$152,000 dollars) or over with specified work experience or academic degrees can apply for permanent residence after one year in Japan. Graduates from top-ranked overseas universities can stay in Japan for two years for a job search or to start a business. Also, government ministries and municipalities are upgrading multilingual public services and improving education opportunities and medical services to make it easier for foreigners to acclimate to their new surroundings.



Japan's Startup Visas for Foreign Entrepreneurs Spur Innovation, Economic Renewal

JETRO Japan Insightに仙台のスタートアップ「輝翠TECH」CEOのタミル・ブルーム氏のインタビュー記事が掲載

タミル・ブルーム氏は東北大学大学院在籍中に輝翠TECHを起業。法務省「特定活動（卒業後起業活動）」を活用し法人を設立し、月面探査機の最新技術で農業の課題解決に向けた事業を展開している。

新型コロナウイルス感染症の影響もありスタートアップビザを活用した本市での外国人の起業は少ない状況が続いているが、R5年度に入り、海外からの問い合わせが増加しており、今後は海外イベント等への出展を通じた情報発信や、東北大学等の留学生を対象としたセミナーやイベントの開催を通じて、外国人の起業支援をさらに強化していく。

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会 R4年度の主な取り組み

事業① J-Startup TOHOKU企業の追加選定

初回選定から2年が経過し、新たなスタートアップも生まれていることから、J-Startup TOHOKUプログラムの活性化を図るべく、新たに10社の選出を行った。



お披露目イベントの様子

事業② 協議会会員間の横連携の強化

協議会会員やスタートアップを対象とした勉強会、意見交換会、事務連絡会議を開催し、支援者である協議会員同士が顔の見える関係性を構築し、地域一体となったスタートアップ支援体制構築を行った。



セミナー・トークセッション（勉強会）開催内容

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会 R4年度の主な取り組み

事業③ 協議会ホームページのリニューアル・情報発信の強化

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会ホームページの更新や、メディアへの積極的な情報発信、Slackを基盤としたオンラインコミュニティを活用することで、仙台・東北地域のスタートアップ支援やイベント情報のタイムリーな発信力を強化した。



更新後HP



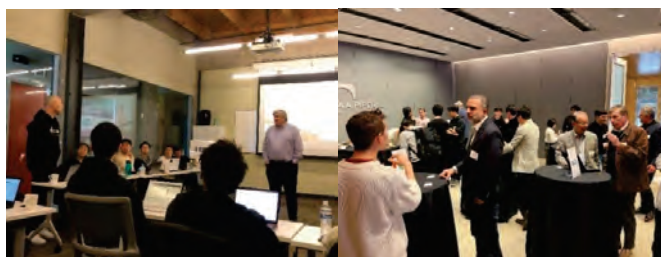
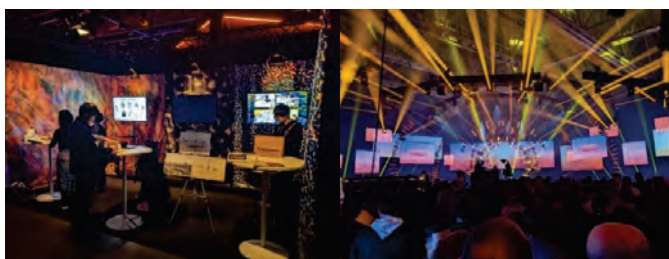
Slackグループの活用



株式会社PR TIMESとの協定締結

事業④ 国等が実施するプログラムの積極的活用

スタートアップの海外展開を集中的に支援する「スタートアップシティ・アクセラレーションプログラム」への参加や、JETROスタートアップ・エコシステム拠点強化支援プログラムを活用した、仙台・東北地域のスタートアップに対して、フィンランドでのスタートアップイベント「SLUSH」への出展支援や、シリコンバレーへの派遣プログラムを実施。



市長によるスタートアップ先進地訪問 in Silicon Valley

1月にシリコンバレーを訪問。現地のスタートアップや投資家、スタンフォード大学で学ぶ学生や研究者、現地プログラムに参加している仙台・東北のスタートアップなどと、仙台・東北のスタートアップ・エコシステムの更なる発展に向けた意見交換を実施。



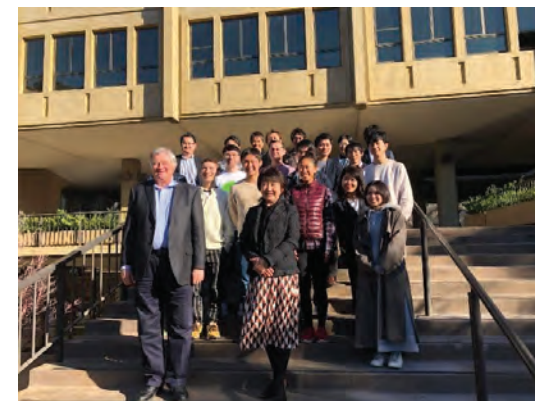
スタンフォード大での市長メッセージ



スタンフォード大研究者による講義



スタートアップとの意見交換



スタンフォード大での記念撮影



ナイアンティック社の視察



ナイアンティック社経営幹部との意見交換



ナイアンティック社での記念撮影



意見交換会参加者との記念撮影

市長によるスタートアップ先進地訪問 in New York

5月にニューヨークを訪問。米ニューヨークの国連本部で開かれた首脳級会合に出席し、東日本大震災の経験を踏まえ、市が進める防災・減災の取り組みを発表。訪問に合わせ、現地の支援機関を訪問し、ニューヨークのスタートアップ・エコシステム関係者やスタートアップ等と意見交換を実施。



国連本部での演説



ジェトロニューヨーク事務所との意見交換



ERAメンバーとの意見交換



NY宮城県人会との記念撮影



ERAメンバーやスタートアップとの記念撮影



ERA支援スタートアップによる事業説明

さらなるスタートアップ支援環境の充実に向けて 人材育成

仙台グローバルスタートアップ・キャンパス

将来のスタートアップの担い手となる仙台・東北の学生や若者を対象に、最先端の教育プログラムの実施や海外先進地域への派遣プログラムへの参加機会を提供し、アントレプレナーシップの醸成を図る。

SENDAI Global Startup Campus (SGSC)

300名が応募
110名を選抜



アントレプレナーシッププログラム

coursera



リーダーシッププログラム



ボストン・シリコンバレー等派遣



グローバルで活躍できるスタートアップ人材の育成・輩出へ

さらなるスタートアップ支援環境の充実に向けて 拠点形成

仙台スタートアップスタジオ

スタートアップに対するワンストップ支援拠点を市内に整備し、ロールモデル予備軍の発掘・育成を行うとともに、地域内外の支援機関等と連携した支援体制の構築と首都圏からの支援人材等の呼び込みに向けた取り組みを行う。

事業創造

- 起業啓発イベント
- アイデア創出ワークショップ
- スタートアップ向けセミナー
- 起業家教育プログラム

成長支援

- アクセラレーションプログラム
- スタートアップ相談窓口
- 個別アドバイス（メンタリング）
- 人材マッチング

資金調達

- パートナーVC制度
- VC交流イベント
- 個別アドバイス（メンタリング）
- 資金調達相談窓口

グローバル

海外大学、アクセラレーター、ベンチャーキャピタルとの連携

協業促進

- ビジネスマッチング
- 交流イベント
- 個別アドバイス（メンタリング）
- アドバイザリーボード

官民連携

- 実証実験支援
- マッチングイベント
- 官民連携ファンド設立
- 協議会連携

コミュニティ形成

- マッチングサービス
- 交流イベント
- 東京圏施設連携
- オンラインセミナー & 交流会

さらなるスタートアップ支援環境の充実に向けて ロールモデル輩出

研究開発型スタートアップ育成 (Tohoku Deep Tech Global Accelerator Project)

東北大学等の研究開発型スタートアップに対する集中支援プログラムの実施等を通じて、スタートアップの成長に不可欠なヒト・モノ・カネに関する重点的な支援を行い、ロールモデルの輩出を目指す。



研究開発型スタートアップ育成
(集中支援プログラム)



首都圏人材マッチングイベント開催
(CXO人材確保)



海外スタートアップイベント出展
(SWITCH・SLUSHを予定)



インキュベーションプログラム
(ビジネスモデル構築支援)



首都圏スタートアップ支援拠点開設
(情報発信・ネットワーク構築)



グローバルチャレンジプログラム
(海外展開ハンズオン支援)

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会 R5年度の活動計画

事業案① スタートアップ・エコシステムの発展に向けた支援施策の検討

仙台らしいスタートアップ・エコシステムのさらなる発展に向け、アクセラレーションプログラム等に採択されたスタートアップへのヒアリング、勉強会等を通じて仙台・東北のスタートアップ支援の現状や課題を把握するとともに、協議会会員や地域内外のスタートアップ支援関係者による支援施策等に関する意見交換や、真の課題の把握と分析、仙台スタートアップ戦略の実現に向けたアクションプランやKPI・KGI等の検討を行う。

①仙台スタートアップ・エコシステムのKGIの検討

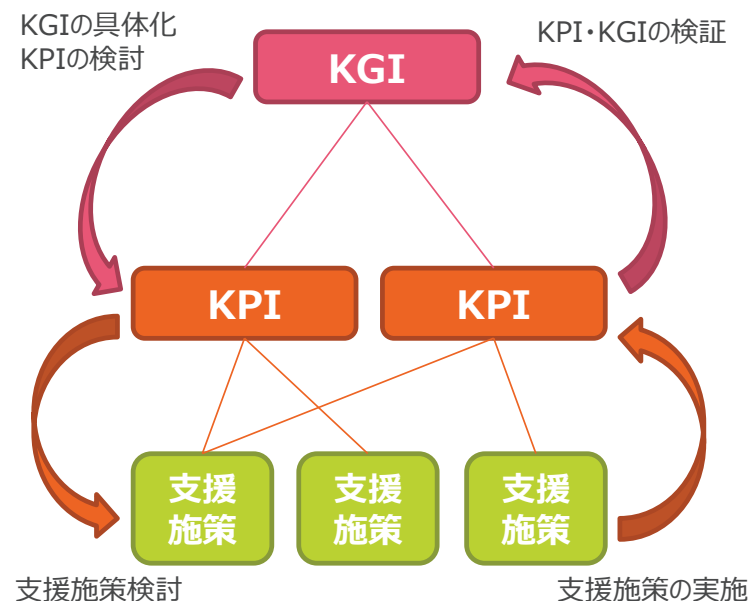
- ・各会員へのヒアリングや意見交換を通じたスタートアップ支援を行う目的や実現したい状態（KGI）の明確化
例：雇用創出数、地元定着率、地域課題解決数など

②KGI達成に向けたKPIの検討

- ・KGIの達成度合いを図るためのKPIの検討
- ・支援施策とKPIを紐づけた体系図の作成
例：起業件数、資金調達額、ビジネスマッチング件数など

③支援施策の検討

- ・KPI達成に向けた既存支援施策の見える化と新たな支援施策の検討
- ・支援対象スタートアップの課題の把握と分析
- ・中長期的なロードマップの策定、会員間で連携した支援施策の実施



仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会 R5年度の活動計画

事業案②

地域内外の支援人材・支援拠点をフル活用した支援体制の構築

協議会会員内での情報交換や勉強会の実施（年8回程度を予定）などを通じて、スタートアップ支援における円滑な連携、スタートアップに対する効果的な情報発信を図るとともに、令和5年度中開設予定のスタートアップ支援拠点「仙台スタートアップスタジオ」と市内のコワーキングスペースやインキュベーションスペース、首都圏の東北にゆかりのある支援人材等の連携体制を構築し、協議会会員やテクスタ宮城を含めた地域のスタートアップ支援施策の強化と相乗効果を図る。

協議会会員間での連携強化とスタートアップ支援拠点間の連携強化



スタートアップ・エコシステム拠点都市・仙台の方向性



東北大学を中心とした
地域に集積する大学等の技術シーズ



震災復興の過程で生まれた
強い社会課題解決マインド



東北の持つ強みを活かしつつ、
社会的・経済的インパクトの創出に挑戦する
スタートアップの創出



東北の中核都市として、**仙台・東北に暮らす人々が
豊かさを実感できる未来の実現**を目指す



**挑戦を続ける、新たな杜の都へ
“The Greenest City” Sendai**

ご清聴いただきありがとうございました

